

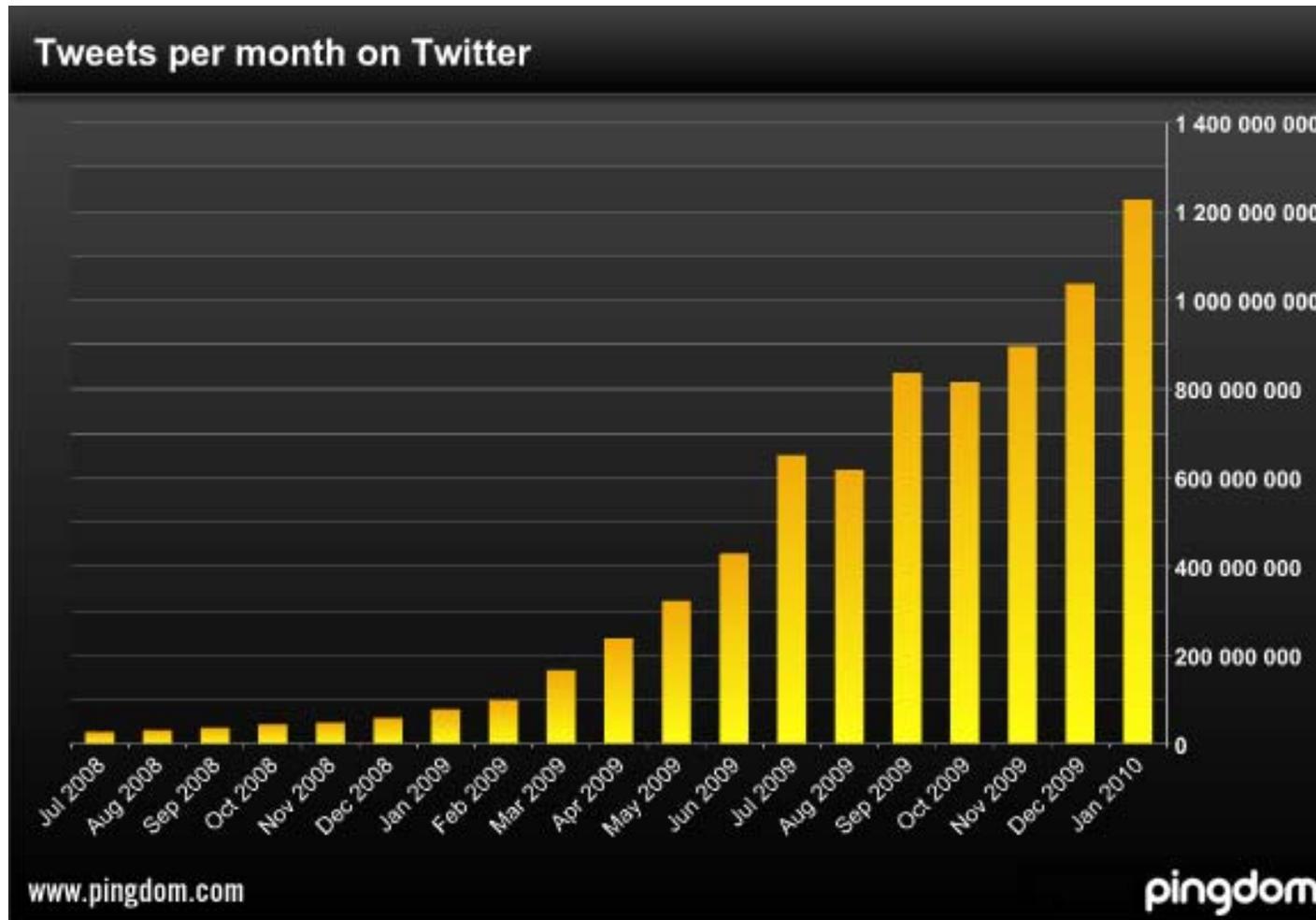
# 第45回 Twitter-遠隔教育での活用を探る



- Twitter-2006年サービス開始, 近年急速に広まる—キャズム超え?
- Twitterとは? マーケティング利用急拡大
  - ソーシャルメディア, 周辺サービスが充実, 140文字制限, リアルタイム, 半匿名(実際には実名に…), ゆるい繋がり感, 誰とでも(一方的に)
- Twitter上での最近の出来事, Twitterの教育利用例,
- Googleがリアルタイム検索に対応(tweetが検索できる)
- Twitterメディアの特性
- 遠隔教育での活用…(本題?)
  - 質問や意見を出させる(バックチャンネルで利用, まとめをリフレクションに利用), ブレインストーミング, Moodleプラグイン, 予期せぬ出会い(serendipity)
  - 遠隔同期型講義で学生共通のノート(広用紙みたいな)として, ゆるさ, RT性を利用して, 活発な議論をさせる(ex.オンラインのポスターセッション)



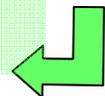
# Twitterはキャズムを超えた？



出典: Pindom

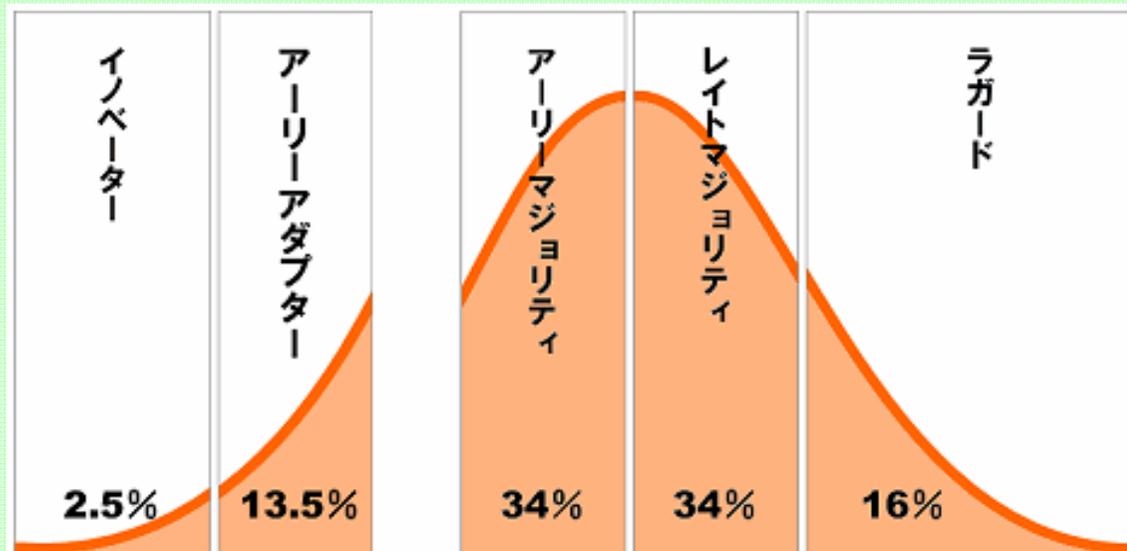
<http://royal.pingdom.com/2010/02/10/twitter-now-more-than-1-billion-tweets-per-month/>

教授システム学専攻



# キャズム/深い溝

- アーリーアダプタとアーリーマジョリティの間の谷
- ・ 認知率は70.2%, 利用率は8.2% [富士通総研,2009.3](#)



出所: ジェフリー・ムーア, キャズム—ハイテクをブレイクさせる「超」マーケティング理論

# Twitter?

インターネットを通じ、140文字以内の「つぶやき/tweet」を不特定多数にリアルタイムに発信し、自分で選択(フォロー)した他人の「つぶやき/tweet」を受信するサービス

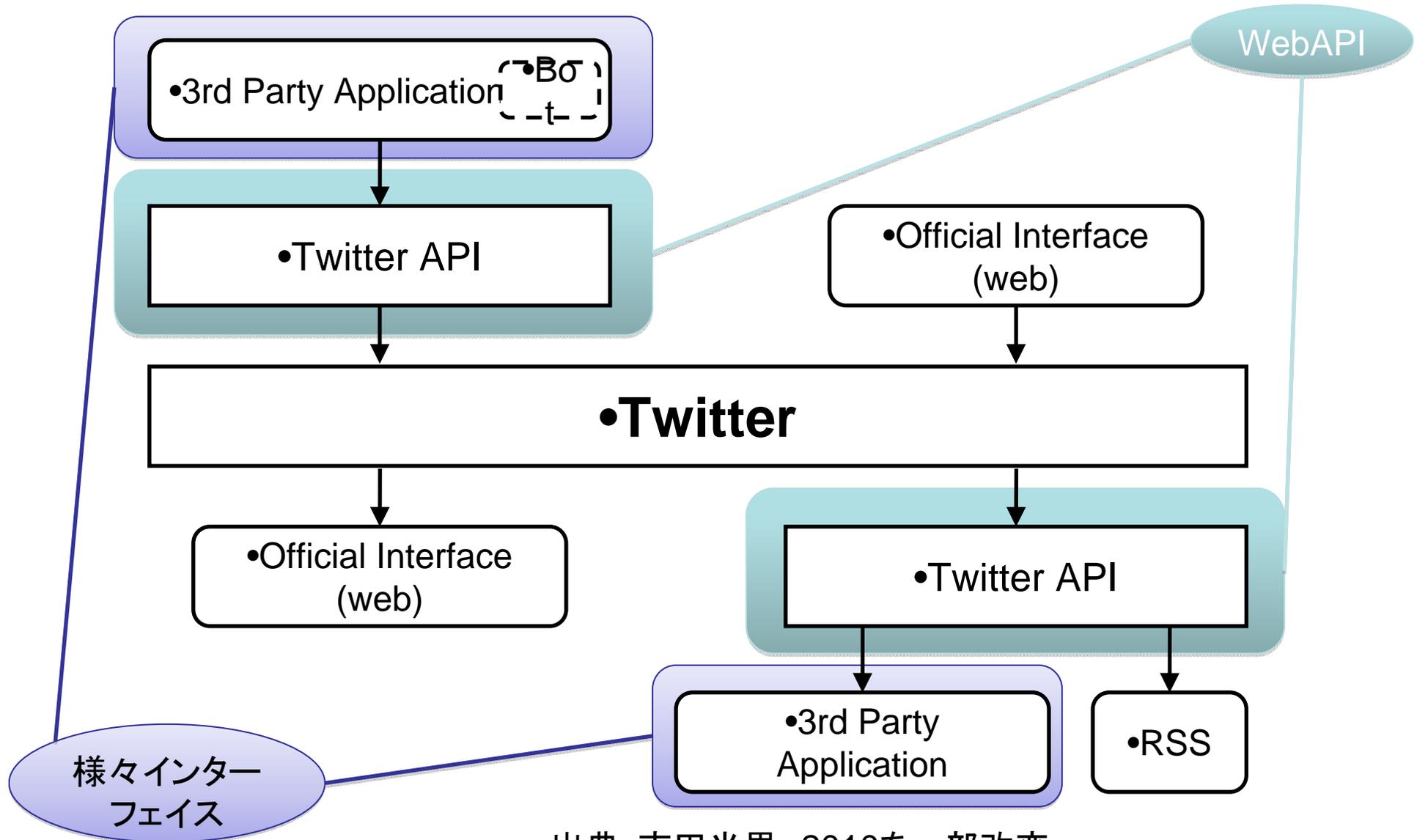
元々は「いまどうしてる?」に答える(応える)≒ムードメッセージ

Twitterの開発者Jack Dorsey: Twitterはブログとインスタント・メッセージャー(IM)の中間的なサービス。「本質的にはブログのようなジャーナル(日常の記録)だが、IMのような会話にも限りなく近い。その売り(selling point)はスピードと手軽さ、そして常に誰かとつながっている、という感覚だ」

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20070803/278996/>

## Twitterシステムの特徴

- WebAPI入出カインタフェース
- 多様なサービス利用形態



出典: 吉田光男, 2010を一部改変

## 最近の出来事

- ・ **国会議員による利用** 自身のIDによる情報発信, 「永田町なう」 - 国会議員初のTwitter討論会, ネット選挙など議論
- ・ **ニセ鳩山騒動 2時間程度で終息** <http://www.itmedia.co.jp/news/articles/0912/10/news024.html>
- ・ **Apple iPad 発表** Ustream (iPhone)+ Twitter中継 (約13万人視聴)
- ・ **SoftBank 決算発表** Ust+Twitterによる公式中継 (5~6千人視聴)
- ・ **チリ地震** 日本語文字化けによる混乱を招く
- ・ **ダダ漏れによるジャーナリズム討論会** Live, 視聴者がTwitterから討論に参加, 3つのスクリーン (TL, 討論資料, 注目のつぶやき), 読み上げたつぶやきには必ず反応しないといけないルール

<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1002/25/news086.html>

# チリ地震でのRT問題

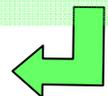


## 周辺サービスが充実

- WebAPIを使った様々なサービスが充実
  - 認証も提供
  - Togetter <http://togetter.com/> tweetを話題毎にリスト化
  - Twilog <http://twilog.org/> ブログ形式で保存
  - Twitpic <http://twitpic.com/> 画像をシェア(動画もある)
  - Twtvite <http://twtvite.com/> 参加者を募るサイト
- Ustream (RT動画配信) + Twitter <爆発的に拡大中
- Tumblrなど(reblog)との連携 ⇨ ソーシャルブックマーク

# Twitter教育利用の例

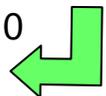
- 実況で「授業ノート」自動生成 (SFC)  
<http://sites.google.com/site/sfcnote/>, <http://news.livedoor.com/article/detail/4410060/>
- 嘉悦大学 twitterをLMS的に利用する(出欠, 課題提出)
  - <http://www.ustream.tv/recorded/4792092>
- シンポジウム, イベント中継での活用 (tsudaる = 実況)
  - [シンポジウムまとめ](#) (togtter), <http://mind-set.jp/contents/blog/2010/01/twitter-1.htm> (場とTwitterのリアルタイムな連携)
- ゼミ利用 (東京大学情報学環山内先生) #ysemi  
<http://blogs.itmedia.co.jp/akinori/2010/02/5000-ust-09d9.html>
- Ustreamによる, 卒論・修論発表会中継 (中部大学藤吉研, お茶の水女子大椎尾研)
- テキサス大学 講義 + Twitterのブレンデッド (200人+) 対面授業活用  
<http://mashable.com/2010/03/01/twitter-classroom/>



tsudaる

## メディアの特性

- 津田大介(2009)Twitter社会論: Twitter6つの特徴  
リアルタイム性, 伝播力が強い, オープン性, ゆるい空気感,  
属人性が強い, 自由度が高い
  - リアルタイム性: 現実との親和性が高い, GoogleでのRT検索も可能
  - 伝播力: RT(Retweet)ほかの人のつぶやきを転送・引用する=チェーンメール!, #(ハッシュタグ)ある特定の話題について検索しやすくするもの
  - オープン性: WebAPIの公開, 多様なサービス利用形態
  - 空気感: 自由にフォローできる(情報が非対称≠mixi マイミク), 140字制限(たいしたこと書けない), リアルタイム性が高く, すぐ流れていく
  - 属人性: Ex.羽田空港なう; お昼なう, 実名, geoタグ(位置情報)の付加
  - 自由度: 非常に自由度が高い. 何をつぶやいても良い



# メディアの特性

	RT性	伝播力	オープン性	空気感	属人性	自由度
blog	○ (+RSS)	○ トラックバック, RSS	—	かため?	ある	△
掲示板	△	△	△	—	—	△
チャット IRC	◎	△	△	ゆるい?	ある	○
Skype	◎	△	○ API公開	—	ある	○
Twitter	◎	◎	◎	ゆるい	ある	◎

特定のサービス